

## 正 誤 表

「新しい疾患薬理学」(第1版第2刷)

下記の箇所にて誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	行, 箇所	誤	正
140- 141	下から7行目～ 上から7行目	(以下に差し替え) <b>●イブジラスト</b> 薬理作用 脳血流改善作用, 抗血小板作用を有し, 慢性脳梗塞患者の広義のめまい, ふらつき, 立ちくらみを改善する。また, 気管支喘息における気道過敏性の改善, 気道炎症および気道攣縮の抑制効果を有する。 作用機序 ホスホジエステラーゼ阻害作用, ロイコトリエン・PAF に対する拮抗作用, プロスタサイクリン (PGI <sub>2</sub> ) の作用増強作用を有する。 副作用 血小板減少, 肝機能障害, 黄疸, 発疹, めまい, 頭痛, 食欲不振, 嘔気, 嘔吐, 腹痛, 消化不良が現れることがある。 <b>●ニセルゴリン</b> 薬理作用 脳血流改善作用, 脳エネルギー代謝改善作用, 脳神経機能改善作用などを有し, 脳梗塞後遺症に伴う慢性脳循環障害による意欲低下の改善に用いられる。 作用機序 脳血管を拡張し脳血流を増加させるとともに, 血小板凝集抑制作用, 赤血球変形能改善作用および PAF 産生能抑制作用等により血液流動性を改善し脳循環を改善する。脳内ドパミン, アセチルコリン神経機能を促進し, ATP など脳エネルギー関連物質の代謝を改善する。 副作用 食欲不振, 下痢, 便秘, 悪心, 腹痛, 口渇, めまい, 立ちくらみ, 眠気, 倦怠感, 発疹などが現れることがある。	
346	上から12行目	アドレナリンβ <sub>3</sub> 受容体	アドレナリンβ <sub>2</sub> およびβ <sub>3</sub> 受容体
533	下から5～4 行目	DNA 鎖の架橋形成を阻害することで細胞毒性を示す。	DNA 鎖の架橋形成を介して DNA の複製・転写を阻害し, 細胞増殖を抑制する。

(株)南江堂 2022.8)